



# こもんず

**VOL.38**

2019年3月4日発行

今年度も全国家庭教育支援研究協議会（主催文部科学省）が2月に開催されました。孤立する子育て（孤育て）にどう寄り添えるのか、子どもや家庭をめぐる最近の課題も取り上げ、地域による多様なアプローチの交流もありました。「子育てにおけるスマホと生活習慣など」（東北大学川島隆太氏講演）は身の回りの状況からも関心の大きなテーマです。スマホは育児に悪影響という短絡的な捉え方ではなく、乳幼児の段階から家庭で正しい使い方を実践していくためのポイントを考える大切さを感じました。また「図書館資源を活用した読書・学習機会提供」や「教育と福祉の連携による家庭教育支援」等も今後こもんずの課題として地域と共に取り組んでいきたい内容でした。

内閣府の30年度チャイルドユースサポート章（子ども・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動を紹介する）の一つにこもんずの活動が取り上げられました。地域がいただいた章であることを励みに、今まで以上にそれぞれが尊重されながらも支え合えるまちに家庭教育の視点から関わっていきたいと思いました。

## 子育てに悩みや不安を感じている保護者のために

### 「こもんず☆カフェ」 ちょっとした悩みを、相談のプロがお聴きします

- 日時 3/18(月) 9時～12時 角田啓子先生（臨床心理士）
- 4/22(月) 9時～12時 角田啓子先生（臨床心理士）
- 5/30(木) 9時～12時 水谷麻未先生（子育て支援保育士）

先生と相談者だけで1時間じっくりお話ができます。

会場 小中台公民館

申込み E-mail : [konakadaicommons@yahoo.co.jp](mailto:konakadaicommons@yahoo.co.jp) TEL : 090-7707-2175（菊池まり）

※お名前・ご連絡先・希望日時をお知らせ下さい。日程等決まり次第、折り返しご連絡いたします。毎月行っていますので日程など申込み先にお問い合わせください。

「個別相談はこもんず☆カフェ」と保護者の方たちに少しずつ浸透して利用して頂けるようになってきました。次年度に向けて「保護者の集いの場こもんず広場」を開催します。お楽しみに

### 「プレ・こもんず広場」を開催しました。

子育てが少し落ち着いてきても、心配は尽きません。気軽に立ち寄り、お話しできる場として開催します。

どんなことも話していい、そこにいる人とも共有できる「うちも同じ!」という事を大切に感じられる場にしていきます。幼稚園の送迎の帰りに、お買い物ついでにちょこっと立ち寄りませんか?「どなたでも、気軽に、出入り自由、参加費無料」です。お飲み物を用意して、お待ちしております。

次回:3月11日(月) 10時～12時 小中台公民館



### ✿ 稲毛図書館からのお知らせ

にゆうがくおめでとう～

この春から、あたらしく一年生になるあなたへあくる、えほんをそろえました。(期間:平成31年 2/24～3/31)



新一年生に向けた図書コーナーに27冊の絵本が紹介されています。親子でゆっくり読書タイムを♡

### ✿ 小中台公民館からのお知らせ

子育て講座「絵本で遊ぼう」

日時:3/17(日) 10:00～11:30

対象:小学 1～3年生と保護者先着 15組

(就学前のお子さんでも可能です)

持ち物:特になし※読み聞かせの本、持参可能です  
申込み:3/2(土)～ 電話または直接公民館窓口へ

# こもんず活動報告12月～3月



子育て親育ち講座 小中台保育所共催

## 「子育てとスマホ」 講師：花沢俊一先生

講師紹介：小・中学校教師 千葉市青少年サポートセンター等歴任。現在生涯学習振興課家庭教育指導員



内容：子育て・育児（家庭生活全般）をママとパパでどうやりくりするか？ 周りの道具を利用して、快適に（あるパパの独白）

アンケートより：「自分も子供にタブレットを持たせているので持たせて良かったかどうか日々考えていたが話を聞いて上手に活用して使わせたいと思いました。」  
「実際の共働き家庭の子育ての話を聞くことができ参考になりました。」  
「スマホにおいては今、子どもも夢中になってしまう環境にある中で親が使い方を工夫すべきだと思います。すべてを辞めるのではなく使い方を見つめ直すきっかけになりました。」

小中台中学校区青少年育成委員会共催 ミニ研修会

## 「最近の子供を取り巻く環境」 講師：宮野昭仁先生

講師紹介：教育委員会教育支援課指導主事等歴任、現小中台中学校教頭



内容：①痛い、辛い、悔しいを体感させない②学校に行かないが許される③日々劇的に変化する環境（ネット・ゆとり世代が親に・外資系企業の理念が浸透）等 ※今の時代に求められる事

は「対話・コミュニケーション」…家庭での会話、地域では声掛け、学校では様々なコミュニケーションの重要性

アンケートより：「時代の変化で教育・考え方が変わっていているという事が良くわかり不安な気持ちになりました。」  
「親も子ども忙しい方々が多くなっているのかコミュニケーションが取れなくなっている人が多い。教頭先生のお話を聞いて、とても考えさせられました。」

小中台小 PTA 子どもの本を楽しむ会子育て井戸端会議 稲毛図書館共催 【えほん笑っぴ〜♪ ~感じて響き合いたい~】

講師：鶴岡敦子さん（絵本セラピスト® ブログ：あっちゃんのほっこり cafe 日和♪）



内容：子どものために大切に作られた絵本を、大人同士（男女年齢を問わず）と一緒に楽しめます。講師の朗読の後、絵本に沿った簡単な質問に対し、グループ内で話し合うことで、お互いの気持ちを分かち合い、新たな気づきも生まれます。



お菓子和飲み物を頂きながら、ゆったり気分

ご紹介の絵本

- \*ねこのピート
- \*質問絵本 \*てぶくろ
- \*カクレンボ・ジャクソン
- \*ええところ \*っほい
- \*わたしとなかよし 等

アンケートより：「大人が絵本を楽しめるという事が、分かる初めての会でした。楽しかったです。」  
「とてもやさしい気持ちになりました。ポジティブなお話が多くて、子どもたちと読みたいと思いました。」  
「まさにセラピー。とてもゆったり・ほっこり・良い気持ちになりました。」

## 家庭教育支援チーム「こもんず」第2回地域協力者会議

日時：2月26日 13:30～ 場所：園生小学校

参加者：園生小網野校長・小中台小依田校長・小中台公民館伊原副館長・小中台保育所牛尾所長・稲毛保健センター健康課久保課長・小中台小 PTA 金内会長・千葉市社会福祉協議会稲毛事務所鈴木さん・社協小中台西地区部会井上会長・社協小中台東部会工藤会長・小中台幼稚園中教頭・生涯学習振興課・こもんず 計 20 名

- ・挨拶 こもんず、千葉市教育委員会より
  - ・平成 30 年度事業報告・31 年事業計画について
  - ・家庭教育支援に関する意見・情報交換
- 出席者からそれぞれの立場で子育て支援、家庭教育、地域の連携等のお話を頂きました。  
※皆様の貴重なご意見を今後のこもんずの活動に生かしてまいります。ご出席ありがとうございました。

## 家庭教育フォーラム「小中台地区から見える子どもたちの様子」講師：依田先生(小中台小学校長)

「30 年前 9 年間小中台中学校に勤務され、現在小中台小学校長として再び小中台地区に。30 年前の小中台中学校のエネルギーにあふれ、教師、生徒、保護者それぞれがぶつかり合いながらも子供のために一生懸命だったころのお話を聞くことができました。今は、不登校等様々な問題が低年齢化し、不登校一つとっても状況、理由も多様で、解決には様々なアプローチを考え、多くの人間が関わっていく必要がある事。アドバイスをインターネット等に頼ることで、情報過多になりさらに混迷を深め動けなくなっている事。学校・地域全体で子どもを見守っていくためにも、学校の対応などへの疑問や地域での子供たちの様子等を遠慮なく学校に知らせてほしい等、様々なお話をしていただきました。」